

令和4年度「知事とのふれあいフォーラム」発言事項に係る対応状況（地域版）

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当	備考
高千穂町 令和4年7月1日開催	介護の職に就かない一番の理由は「賃金が安い」というもの。介護報酬のルールを変えていかないと、介護が受けられなくなるのではないかと。	・介護報酬の一つである処遇改善加算の取得促進を実施	・介護職員の処遇改善に繋がる処遇改善加算の取得促進を図るため、介護事業所に対するセミナーの開催や、社会保険労務士による個別相談を実施しているところ。更なる取得促進のため、今後も実施していく。	長寿介護課 居宅介護担当	
	介護職がなかなか集まらない。そもそも介護職に就く人がいないのが現状である。	・介護分野への就労を促進する対策を実施	・将来の担い手となる若者（小中学生・高校生など）に対して、介護の魅力発信などの取り組みを総合的に実施しているところ。今後も継続的に実施予定。 ・令和5年度から、市町村が地域の実情に応じて実施する介護人材確保に係る事業に対して補助を実施し、介護体制の連携強化を図る。	長寿介護課 介護人材・高齢化対策担当	
	森林所有者の高齢化等により、植林の担い手不足、林業の採算性等から森林管理が厳しい状況にあり、山に関心の無い森林所有者が増加している。 森林所有者に少しでも山に関心を持っていただけるような取り組みを行政と一緒に取り組んでいけたらと考えている。	・令和5年度改善事業「適切な森林経営促進事業（適切な森林経営普及・啓発事業）」により対応予定	・再造林を含めた適切な森林経営について、森林所有者の意識醸成を図るため、新聞広告やチラシ配布等による相談窓口の周知など広報の強化に取り組む。	森林経営課	
	飼料代も高騰していて、今、畜産経営は、所得の面において非常に圧迫された状況である。	・令和4年度補正事業「畜産セーフティネット対策緊急強化事業」を実施 ・令和4年度補正事業「県産肥飼料実需農家利用促進事業」を実施 ・令和5年度新規事業「地域連携による資源利用拡大推進事業」に反映	・飼料高騰対策として、配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部支援（200円/トン） ・輸入飼料に過度に依存しないため、県産飼料の生産・利用に必要な施設・機械整備への支援（1/2以内） ・輸入飼料に過度に依存しないため、地域資源（飼料用米、稲わら、堆肥等）利用のための施設・機械整備への支援（1/3以内）	畜産振興課 畜産経営支援担当	

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当	備考
高千穂町 令和4年7月1日開催	建設業も担い手不足。3Kのイメージを払拭できるよう、災害時に建設業が真っ先に駆けつけて対応している事等も含め、建設業を行政も一緒になってアピールしてほしい。	・令和4年度に建設産業の魅力を発信するポータルサイト「ビルミヤ」を開設。	・高校生等の若者向けにスマートフォンでも閲覧しやすいポータルサイトを令和5年3月に開設し、企業紹介(約100社)、特集「女性×建設業」・「ICT×建設業」・「外国人材×建設業」、先輩インタビュー、魅力発信動画等を掲載している。 今後、特集ページ等で建設業者の災害対応についても取り上げていく予定。	管理課 建設業振興担当	
えびの市 令和4年7月26日開催	高齢者の交流が減っている中、地域の中での見守りや支援について問題となっている。	・市町村老人クラブ連合会や県老人クラブ連合会への活動補助を実施	・市町村老人クラブが実施する地域支え合い事業などに対して活動補助を実施しているところ。 ・県老人クラブ連合会が実施する老人クラブ会員や非会員向けの事業に対して活動補助を引き続き実施し、交流の促進を図っていく。	長寿介護課 介護人材・高齢化対策担当	
	高齢者クラブへの入会者が減っており、行政の指導・援助により入会者を増やしてほしい。	・県老人クラブ連合会への活動補助を実施	・令和4年度より、県老人クラブ連合会への補助事業の中で、新規加入者獲得等を目的とした「eスポーツ・ニュースポーツ体験交流会」を実施しているところ。今後も3地区において年間各3回実施する予定としている。	長寿介護課 介護人材・高齢化対策担当	
	大規模農業に対応したデジタル化に関する試験などの取り組みを要望	・宮崎県農畜水産試験研究推進構想(R3策定)や、みやざきスマート農業推進方針(R元策定)に基づき、総合農業試験場や現地ほ場において、ICTやロボット技術などを活用した高品質・多収技術ならびに省力・軽労・低コスト化技術の開発・実証等に取り組み中	○大規模農業に対応したデジタル化に関する、総合農試の主な研究は次のとおり ・水稲での多機能自動給水栓を活用した水管理や直線キープ田植機等による省力技術の検証 ・果樹園におけるラジコン・自動草刈機の検証 ・ドローン防除における対象病虫害や薬剤特性を踏まえた防除効果の検証 ・加工・業務用ほうれんそうの生育予測技術の開発 ○生産現場では、みやざき農業DXスタートアップ事業において、省力化等を目的としたスマート農業技術の現地実証を実施 ○上記のほか、スマート農業について部HP「ひなたMAFiN」で「動画で伝えるスマート農業！」等で情報を発信	農業普及技術課 研究企画担当 普及企画担当	

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当	備考
綾町 令和4年8月23日開催	移住者の住むところがないと言われるが、空き家はある。空き家をチェックする体制を県と町とでやったほうがいい。	・移住者向けに空き家の利活用を支援するため、空き家等情報バンクの活動支援を行うとともに、個人の空き家及び遊休施設の改修費用等の補助を行っている。 ・令和5年度改善事業「宮崎ひなた暮らし移住・定住促進事業」に反映予定	・令和4年度においては、空き家の改修に取り組んだ17市町村に補助を行った。 ・令和5年度改善事業「宮崎ひなた暮らし移住・定住促進事業」においては、都市部でのPRやお試し滞在等と一体的に、空き家対策に取り組む市町村の支援を行う（1市町村あたりの補助上限1,500千円）。	中山間・地域政策課 移住・定住推進担当	
	田代八重綾線について一般土木で道路改良をしてほしい。	・道路改良は困難なため、引き続き防災対策を実施。	・田代八重綾線は、地形が急峻であり、道路改良に多額の費用を要することや、防災対策の必要な箇所が多数存在することから、引き続き、防災対策を実施。	道路保全課 維持担当	
	地域メンテに疑義が生じた場合は、意見交換の場を設けてほしい。	・地域メンテに疑義が生じた場合、意見交換の場を設ける。	・地域メンテに疑義が生じた場合、高岡土木に連絡をしてもらえれば、意見交換の場を設ける。	道路保全課 維持担当	
	少しずつ改善してきてはいるが、綾北川がいつも濁っている。 県と町が一緒になって、きれいな川を早く再現してほしい。	・綾北川・本庄川流域濁水対策検討会において、令和4年10月に台風第14号を受けての緊急現地調査会及び令和5年2月に第3回検討会を開催。 (宮崎県・熊本県（振興局）、綾町・国富町、綾・国富漁業協同組合)	・濁水発生箇所を把握した上で、熊本県を含む関係機関との検討会を開催し、濁水発生状況のモニタリング調査及び植林や崩壊地等の緑化などについて情報共有を図った。	河川課 ダム担当	
	移住希望者から住むところがないとよくと言われるが、空き家はたくさんある。空き家の実態調査を県と町でできないか。	・令和4年10月に市町村空き家連絡調整会議を実施した。	・国の補助制度の紹介や、情報提供及び県内市町村の事例紹介等を実施した。	建築住宅課 住宅企画担当	

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当	備考
西米良村 令和5年3月16日開催	買い物に行くにも不便な点が多いことから、行政側の支援による移動販売車の導入ができると良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から、中山間地域において移動販売事業等を実施する事業者等に対する、車両や設備の購入等の経費の補助を行っている。 ・令和5年度改善事業「中山間地域移動スーパー等導入支援事業」として継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2～4年度までの補助実績は合計12件（西米良村では実績無し） ・令和4年度までは直接補助（県→事業者）で、県負担1/2、事業者負担1/2だったが、令和5年度から間接補助（県→市町村→事業者）とし、県負担1/3、市町村負担1/6、事業者負担1/2とする（県の補助上限100万円）。 	中山間・地域政策課 中山間・特定地域振興担当	
	<p>移住者が住みたいけれども住める状況・環境にない。</p> <p>西米良に帰り、最初の課題が住むところであった。空き家の整備がこれから重要になってくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者向けに空き家の利活用を支援するため、空き家等情報バンクの活動支援を行うとともに、個人の空き家及び遊休施設の改修費用等の補助を行っている。 ・令和5年度改善事業「宮崎ひなた暮らし移住・定住促進事業」に反映予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度においては、空き家の改修に取り組んだ17市町村に補助を行った。 ・令和5年度改善事業「宮崎ひなた暮らし移住・定住促進事業」においては、都市部でのPRやお試し滞在等と一体的に、空き家対策に取り組む市町村の支援を行う（1市町村あたりの補助上限1,500千円）。 	中山間・地域政策課 移住・定住推進担当	
	介護職員の確保が課題。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護分野への就労を促進する対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の担い手となる若者（小中学生・高校生など）に対して、介護の魅力発信などの取り組みを総合的に実施しているところ。今後も継続的に実施予定。 ・令和5年度から、市町村が地域の実情に応じて実施する介護人材確保に係る事業に対して補助を実施し、介護体制の連携強化を図る。 	長寿介護課 介護人材・高齢化対策担当	
	林業の担い手が少なく、将来の森林がどうなるか不安である。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規事業「ひなたのチカラ林業担い手確保育成推進事業」、「造林事業インターンシップモデル事業」に反映予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひなたのチカラ林業経営者」について、造林保育作業への新規参入者を支援 ・森林組合において造林作業のインターンシップを実施 	山村・木材振興課	
林業の担い手が少なく、将来の森林がどうなるか不安である。	<ul style="list-style-type: none"> ・みやざき林業大学校（長期課程）の定員増を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・15人であった定員を令和5年度から24人に増やした。 	森林経営課		

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当	備考
西米良村 令和5年3月16日開催	台風の影響で、建設業が自分の仕事プラス災害の方に追われ、マンパワーが足りていない。	・大規模災害から円滑かつ迅速な復旧・復興を図るため、被災地域の地元建設企業の施工力強化を目的に共同企業体制度（復旧・復興JV）を令和5年1月に導入した。	○令和4年台風第14号による災害を対象に、以下のとおり対応を行った。 ・指定地域に西臼杵支庁及び日向土木管内を指定（令和5年2月） ・西都土木管内（西米良村含む）を追加指定（令和5年3月）	技術企画課 入札・技術評価担当	
	国道265号大藪地区の被災箇所を早く通れるようにしてほしい。	・現在、復旧工事を進めており、6月の第3週には時間規制により交通解放する予定。	・現在、復旧工事を進めており、仮橋を設置し、6月の第3週には時間規制により交通解放する予定。	道路保全課 維持担当	